



紀行文

北海道山紀行 2009 行動日誌

序章

・今年も北海道山紀行の時期がやってきました。一昨年は6月中旬から7月、昨年は8月に行きましたが今年は6月末から8月までの予定で出かけました。今年の北海道は異常気象の影響で雨の日が多く、おまけに低温注意報が出っぱなしで、朝は11～15℃、昼間でも20℃前後という寒い日の連続で、長袖にジャンパーを着込み、車はヒーターをつけて走るありさまでした。たまに晴れて日が差すとやはり真夏の太陽で汗ばむほどの暑さになりますが、それも二日と続かず、翌日は寒い雨の日がくるという今年の北海道でした。それでもなんとか晴れ間を見つけて北海道の山と礼文島のトレッキングを行いました。後半は天気回復が期待できないので、昨年と同じく道南の山をあきらめて途中で帰宅しました。

車の準備

・今年で東北の山紀行を含めてもう4回目になりますので、車の改造も徐々に完成度を高めてきて、かなり居住性の良い物になりました。そのため山小屋の雑魚寝よりはよっぽど寝心地がよくなり、今回は道の駅が不都合なところにあり使いにくい場合以外は全て道の駅での車中泊としましたが全く問題なく、自由な行動がとれて最高でした。

○車の改造・今回のポイント

- ・基本的には昨年と同じですが、ケースを1個追加してその上に板を張り、ベッドスペースを広げたため寝心地が格段に向上した上に、昼間は寝具を畳んだ板の部分が、作業台や食卓に使えて便利でした。
- ・天井に棚を付けたのですが、これは天井が低くなり居住性が悪いので次回は撤去します。
- ・今年のように雨の日が続くと食事の時結構苦勞するので、今後は雨対策を研究します。



今年の中内



昨年の中内

宿泊地

・例年通り基本的に道の駅です。北海道の道の駅は毎年2,3ヶ所増えていますし設備もどんどん良くなっています。毎年来ているという常連客が大勢いて、いろいろな情報を得たり、旅や故郷の話しに花が咲きます。関西や四国・九州の車が多く「我々は定年になったらゆっくり夫婦で北海道を旅するのが夢なんだ」とのこと。だいたい1~2ヶ月ふらふら北海道を回っているようです。今年は高速道路料金が1000円になったので本州を車で縦断して来たという人も多くいました。

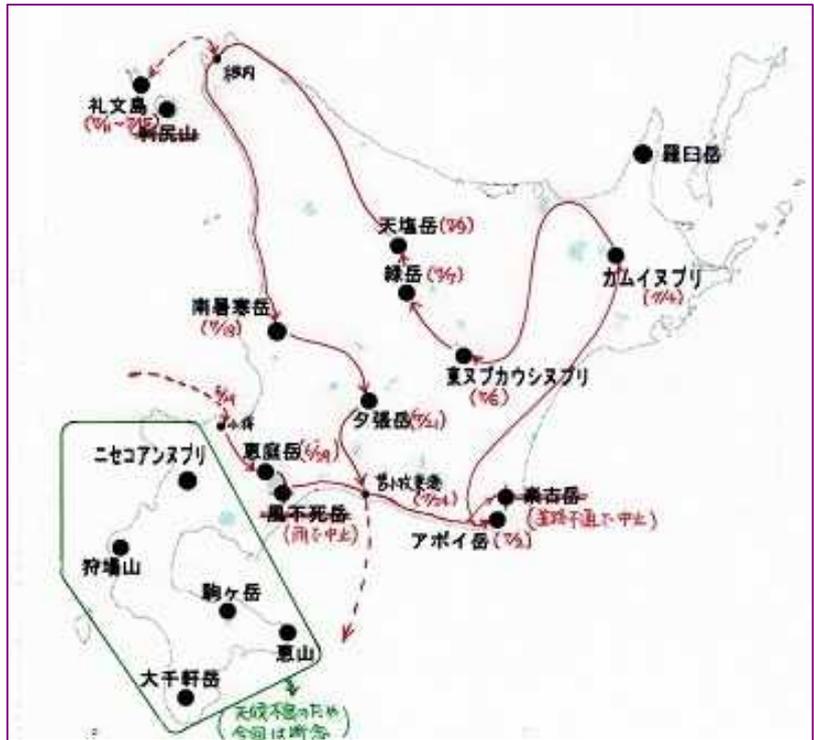
・道の駅では炊事場付きの公園を隣接しているところもあり、炊事、洗濯が出来て大変便利です。独立して設置されている公営のキャンプ場が各地にあります。これは殆どが有料です。よく探せば無料のキャンプ場もいくつかあるようです。

登った山と回ったルート

・どこの山に登るか、どんなルートをとるかは概略計画を立ててゆきました。ただ天気や宿泊状況で臨機応変の行動をとりました。

今回の行動地図を示します。

・小樽に上陸してから反時計回りに北海道を周り、最後に道南の山を登って帰る予定でしたが、天気が悪いので道南をまわらずに苫小牧から帰ってきてしまいました。



出発

●さあ出発だ！6月27日(土)の夜中、昨年と同じく新潟港へ向けて家を出発しました。明朝10時半に新潟港を出港するフェリーに乗って小樽に向かうため、真夜中の関越道を走りました。土曜日のため我が家から新潟まで高速道路料金がETC割引で1000円というのが大変助かりました。(昨年は深夜割引を使って4950円もかかりました。)今年は陸上自衛隊の団体が同舟だったので大変混雑して賑やかな船旅でした。

● 6月27日(土) 晴 自宅から新潟へ

○梅雨だというのに朝から真夏の太陽がガンガン照りつけメチャ暑い。

出発は今夜なので、昼間大山の「えちごや」に図鑑「かながわの山に咲く花」のチラシを置いてもらう依頼の方々、出発の挨拶に行った。

・帰ってから車と装備の最終点検。チェックリスト最終確認、荷物の積み込み、パソコンの作動テストなど・・・すべてOK。あとは出発待ち。

・夜11時 朋子の見送りで家を後にする。いよいよ今年の「北海道山紀行」の始まりだ。

・夜遅いので道はすいており順調に走行し12時に相模湖ICを通過。狭山SAでトイレタイム、赤城高原SAで約30分仮眠を取った。時速80kmのんびり走行で、途中何回か仮眠を取りながら6時前に新潟フェリーターミナルに無事到着した。昨夜相模湖ICを入り300km余走行して今朝亀田IC出たが、高速代は1000円だった。

● 6月28日(日) 晴 フェリー

○乗船手続きを7時すぎに済ませ、9時45分の乗船予定時間まで2時間半以上時間がある。まず歯を磨いて洗面し、今朝コンビニで購入してきたサンドイッチと牛乳で朝食を摂る。

日差しは暑い朝早いので風は涼しげ、窓を全開にしてワンセグでサンデーモーニングを見て時間をつぶした。周りを見たら駐車場は車が満杯、その上自衛隊の車両が数十台待機している。こんなに車が多いのはここ3年間来ているが初めてだ、こんなに積めるのか？

・9時ころから自衛隊の車両の積み込みが始まった。われわれの一般車は予定通り9時45分から乗船開始。乗ってみたら甲板はまだスペース十分あり、フェリーの甲板というのは広いものだとあらためて驚いた。さて2等寝台 K-131が見あたらない！ 探し回ったがやはり無い、えらいこった！ デスクがL-131を間違えてと云うことが分かりやっと自分のベッドに落ち着いた。

・例によって早速風呂へ向かう。ところが先に乗船した自衛隊員で風呂がいっぱい、いつもと違って今回はこれから先の船旅が思いやられるわ。昨夜の夜行の汚れと疲れを風呂で癒しビールを片手に出航を待つが10時半の定刻になっても出航の気配が無い、どうしたの？ 乗船用のタラップがまだ付いたまま。しばらくして救急車がサイレンを鳴らしてやってきた。急病人がでたのか？ 10時45分やっと離岸し小樽に向けて航行開始した。遅れた理由に付いてなんの説明も無いまま。

・その後は天気も良く波も静かで、航海はきわめて順調。ビールと蕎麦で昼食をすませ、そのまま熟睡。目が覚めたら午後2時過ぎ、静かな日本海を快走中。海を見ながら日記を書いたり、これからの計画を練ったり。6時過ぎには夕食の態勢、ビールや酒やつまみを並べる。

・広く静かな日本海に沈み行く太陽を眺めながら、ビール、酒で焼鳥や寿司をつまむ、最高の至福である。この幸せを誰に伝えたらいいだろうか。携帯電話は「圏外」を表示している。いい気分ベッドに横になったらすぐ眠ってしまった。